

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。患者の診療情報については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。医師へのアンケート結果の使用については、無記名で実施されているため、研究対象者の氏名等は特定されることはありません。また、安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者までご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中でアンケート結果が使用されることについて質問等がありましたら、下記お問い合わせ先までご連絡ください。無記名アンケートなので、申し出があっても除外することはできませんが、お問い合わせに対応させていただきます。

抗菌薬適正使用支援活動の強化が抗菌薬使用に与える影響の調査に関する研究

1. 研究の対象

- ・ 2017年4月1日から2023年3月31日までの間に、当院の消化器外科で抗菌薬の治療を受けられた入院患者
- ・ 2022年12月1日～2023年1月31日に抗菌薬適正使用支援チーム（以下、AST）活動の一環として Microsoft Forms にて実施した抗菌薬適正使用に関するアンケートに回答された消化器外科の医師

2. 研究実施期間

（機関の長の許可日） から 2027年3月31日 まで

25 7.2

3. 研究目的・方法

AST の抗菌薬適正使用支援活動強化により、診療科医師の処方行動や抗菌薬の適正化にどのような影響を与えるかについて解明することを目的としています。

本研究に使用する情報として、アンケート結果から項目4に記載する情報を抽出し使用させていただきます。氏名等、あなたを特定できる情報は収集しておりません。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

- ・ 診療情報：病名、年齢、性別、体重、BMI、手術（種類、緊急・予定、時間）、ICU入室の有無、使用抗菌薬（種類、量、期間）、血液検査（クレアチニン、eGFR、AST、ALT、ALP、ビリルビン、白血球数、好中球数、プロカルシトニン、CRP、 β -D glucan）、便検査（CD トキシン）、細菌検査（同定・培養・薬剤感受性）、死亡、再入院の有無

- ・ アンケート情報：経験年数、抗菌薬を処方する場面、AST のカルテ記載の確認有無、AST のカルテ記載の貢献度、抗菌薬適正使用への意識

5. 利益相反に関する事項

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため開示すべき利益相反はありません。

6. お問い合わせ先

東海大学医学部付属病院 （電話：代表 0463-93-1121 内線：6051）

研究責任者／問い合わせ担当者 薬剤部薬剤科 橋本 昌宜